

東海大学大学院 2017年度 家族看護研究会



家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析

今回は、家庭の中に自殺企図を繰り返す患者がいる状況を

家族療法の視点から看護師の対応について検討します。

事例紹介

**母親の愛情を求めて、多量服薬を繰り返す患者。
患者の保護者として関わる事に嫌気がさし、患者との関係を
断とうとする母親。
満たされない愛情を求め病院に依存する患者に、
医療者たちはどのように関わればよいのか。**

プロフィール：渡邊俊之教授
東海大学大学院 健康科学研究科 社会福祉学専攻
日本家族研究・家族療法学会第10代会長
家族療法、精神分析的な精神療法、リハビリテーション心理学
病人や障害者の心のケア、病人や障害者を抱えた家族（介護家族）
への心理的サポートと地域サポートについて研究されている。

2017年9月30日 土曜日
13:00～16:00

場所：大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス：小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分
バス10分（東海大学病院下車）

問合せ先：0463-93-1121（代表） 担当：井上

研究会ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：kazoku@tokai-u.jp

